



大島地区のほ場整備・産業団地と 空き家バンクについて

飯島 一志 議員



質問 ほ場整備事業決定後から現時点までの進捗状況について伺います。

答弁 耕作者を中心とした土地改良準備委員会を立ち上げて、ほ場整備後の営農計画策定を進めているところです。

質問 今後のスケジュールについて伺います。

答弁 令和6年度には、完成の青写真となる事業計画書を作成し、令和7年度から12年度までの6年間を事業期間として、また、そのうち令和8年度から11年度までの4年間を工事期間として予定しています。

質問 いつ頃、産業団地の造成が始まるのか、今後の

スケジュールについて伺います。

答弁 現在の予定となりますが、令和6年度の早い段階で、市街化区域への編入を予定し、その後、事業用地の取得、順調に進捗しますと、令和7年度に造成工事を開始、7年度末には、造成工事が完了したエリアから順次分譲の開始ができることを目指して、事業を進めているところです。

質問 現在の本市の空き家の状況について伺います。



実際の空き家の様子

答弁 令和2年度の調査時には、1376戸となっております。地区別では多い順に、六郷地区が471戸、館林地区が385戸と続き、最も少ないのが三野谷地区の30戸で、大島地区は35戸となっております。

質問 空き家の利活用を増加させるための今後の取組について伺います。

答弁 所有者や関係団体に対する働きかけが必要であると考えています。今年度は、空き家見学会を初めて実施しました。今後は、不動産業者との連携、SNSを活用した空き家バンクの周知、家財処分に係る補助金といった空き家バンク登録を促すための新規事業など、様々な取組が必要と考えています。

子育て支援と

期日前投票宣誓書について



平井 玲子 議員



子育て支援について

質問 妊娠期・産前の支援についてお尋ねします。

答弁 本市の最大の特徴として、妊娠8か月頃の全妊婦に対して家庭訪問を実施し、困り事などの相談にも

質問 出産・子育て応援交付金事業を実施するに当た

り課題をお尋ねします。

答弁 面談時間や業務量の増加が予想され、マンパワーの不足が大きな課題であると認識しています。



要望 子育て世代包括支援センターの管轄を分割して事業を実施することも考えてほしいと思います。また、北九州市は、アプリから紙の母子手帳の交付申請ができるようになりました。スマホで妊娠届とアンケートを記入・提出でき、市役所では面談だけで申請が済む

かたちです。本市には「ぼんちゃん」の予防接種・子育てナビ」がありますので、他の自治体の事例も参考にしながら活用の幅を広げて

いくよう要望します。

期日前投票宣誓書について

質問 期日前投票が増えている要因をどのように考えているのか、お尋ねします。

答弁 期日前投票の積極的な活用をお願い、民間の取組による選挙割を利用する方の増加、アゼリアモールでの期日前投票所の増設によって期日前投票の割合が高まったと考えています。

質問 現行のハガキ形態を生かして入場券の裏面に宣誓書を印刷し、事前に記入

できる宣誓書付き入場券の導入についての考えは。

答弁 ハガキに掲載できるスペースやシステム改修費などのハードルがありましたが、今年に入り選挙人名簿の管理システムについて標準仕様書が総務省より示され、入場券を全国で統一化することになります。この統一様式の中に裏面が宣誓書となっているものもあり、この機会に合わせて宣誓書を併記した入場券に変更していきたいと考えます。